



1933 - 北村源次(初代社長)が、高知県高岡市金園町にて創業。
北村源次は旧日本海軍機工廠に勤務し、当時の日本最高レベルの機械技術者を得る。
1972年、最新技術を得るため、イギリスに派遣された。その技術により高機能工場の潜水艦部品、株式会社小松製作所への戦車のキャタピラーの製作を請け負う。

1933

The 1960s

1962 - 1963 大型内排形プレナーの開発。販売開始。海外への輸出開始(インド・ヨーロッパ)



1960 - プレーナーの販売拡大により、高岡市横田地区に工場を拡大移転。国内市場占有率第1位となる。
北村精工株式会社に改称。輸出開始し、英文社名をKITAMURA MACHINERY CO., LTD.とする。



1964 - プラノミラー(プレーナー加工とフライス加工の複合機)の開発。



1965 - 新幹線車両の台車加工用の専用機の開発、製作、納入。

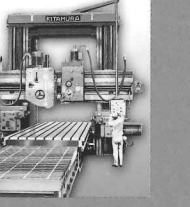


1966 - 小型高速プレーナーの「マイプレーナー」Myplanerを開発。販売開始。
1955年には、その発展型として油圧駆動による形状加工も可能な複合機を開発。

1967 - ベッド型研削盤の開発。国内初のリアガイドレールの研削専用機開発、販売開始。



1968 - 門型プラノミラーの生産開始。加工物の上面、側面のフライス加工が可能となり、加工の合理化、生産性を向上に寄与。



KITAMURA®

a Journey of Excellence

キタムラ機械株式会社は、1933年に北村工作所として創業し、株式会社小松製作所を主な顧客として機械部品の生産を始めました。
1960年代、プレーナーの販売拡大の結果、国内市場占有率第一位、「プレーナーのキタムラ」として評価をいただきました。
プレーナーは、ミーリングヘッドを追加することでフライス加工を可能としたプラノミラーに進化し、現在の工作機械の原型となります。
当社は、プラノミラーにおいても国内シェアNo.1を獲得し、今日の基礎を確立しております。
この高精度工作機械の製作を最重要課題と捉え、フライス削り、中ぐり、研磨加工を極める姿勢は、今日の「Premier Machining Center」に受け継がれております。

The Premier Machining Center

誠実 親和 熱意

80 YEARS

KITAMURA®

MYCENTER G SERIES MACHINING CENTERS



世界最高速度・毎分60m 切削送り速度
(完全角型摺動面構造)

モノづくりDNAを未来へ、世界へ。
JIMTOF2014
第27回 日本国際工作機械見本市
(小間番号:東ホールE4017)



Mycenter-HX400G

世界最高速度 毎分60m切削送り速度 万全の切対策を実現

テーブル寸法:	400 x 400mm
移動量(X, Y, Z):	610 x 610 x 610mm
主軸ターボ:	NST No.40
主軸回転数:	40~15,000min ⁻¹ (Opt. 20,000min ⁻¹)
工具収納本数:	50本 (Opt. 100, 200本)
早送り速度(X, Y, Z):	60m/min



Mycenter-3XD

Durability:耐久性・信頼性を極めた重切削マシニングセンタ

テーブル寸法:	500 x 860mm
移動量(X, Y, Z):	760 x 510 x 510mm
主軸ターパ:	NST No.40
主軸回転数:	12,000min ⁻¹ (Opt. 15,000min ⁻¹)
主軸最大出力:	26kw(35HP) 177N·m
早送り速度(X, Y & Z):	48m/min (X, Y), 42m/min (Z)

Mycenter-4XT

Trunnion:5軸制御による高剛性構造 立形マシニングセンタ

テーブル寸法:	φ400mm
移動量(X, Y, Z):	800 x 610 x 510mm
(A-傾斜, C-旋回):	-42~120deg, 0~360deg
主軸ターパ:	NST No.40
主軸回転数:	15,000min ⁻¹
主軸最大出力:	26kw(35HP) 177N·m
早送り速度(X, Y & Z):	36m/min

Mytrunnion-4G

省スペース型 高精度 同時5軸制御立形マシニングセンタ

テーブル寸法:	φ400mm
移動量(X, Y & Z):	610 x 610 x 500mm
(A-傾斜, C-旋回):	150deg(-120~+30), 0~360deg
主軸ターパ:	NST No.40
主軸回転数:	40~15,000min ⁻¹
工具収納本数:	50本
早送り速度(X, Y & Z):	50m/min (X, Y), 25m/min (Z)

BRIDGEcenter-6G

ワイドな加工領域を実現 高剛性・高精度門形マシニングセンタ

テーブル寸法:	900 x 1800mm
移動量X, Y & Z):	1530 x 1095 x 710mm
主軸ターパ:	NST No.40/NST No.50
主軸回転数:	40~15,000min ⁻¹ (NST No.40) 35~12,000min ⁻¹ (NST No.50)
工具収納本数:	40本 (Opt. 80本)
早送り速度(X, Y & Z):	24m/min

Xross-Cut

超高速切削 次世代型3Dマシニングセンタ

テーブル寸法:	510 x 610mm
移動量(X, Y & Z):	310 x 560 x 350mm
主軸ターパ:	HSK-E25
主軸回転数:	70,000min ⁻¹
工具収納本数:	5本
早送り速度:	(X) 120m/min, (Y) 60m/min (Z) 36m/min

同時5軸制御立形マシニングセンタ「マイトラニオン-5 / Mytrunnion-5」

続いて位置決め精度±2ミクロンの高精度立形マシニングセンタ

「Mycenter-Fシリーズ」、±1ミクロンの「Mycenter-Hシリーズ」を

開発し、販売開始。

大型マシニングセンタの需要の拡大に伴い、本社工場に、より生産効率の高い大型機専用組立工場を竣工。

キタムラ機械は、高精度で、しっかりとした構造を持つマシニングセンタを作り続けるとともに、多軸化、新世代の機械構造、さまざまな新機能を開発し、成長を続けてまいります。

グッドデザイン賞に輝いた機械デザイン、当社独自開発のCNC制御装置をはじめとし、高精度、高品質な工作機械の開発への当社の熱意は、燃え続けています。



2001 - 5軸制御立形マシニングセンタ Mytrunnion-5の開発、販売開始。高精度立形マシニングセンタ Jigcenter-5の開発、販売開始。

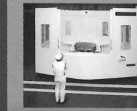
The 2000s

2005 - 移動型マルチヘッド 多軸大型金型加工機「Dimystar (ディミスター)」を開発。

2002 - 「Fシリーズ」の立形マシニングセンタ。位置決め精度±1ミクロンの「Hシリーズ」の高精度仕様を開発、販売開始。



2006 - フライス加工、旋削加工、研削加工を自在に実行した、次世代型5軸制御立形マシニングセンタ「マイトラニオン-1 / Mytrunnion-1」を開発、販売開始。



2007 - 最大1トンの重量物加工を半径7ミクロン以内で行える業界最大級の球形マシニングセンタ「Mycenter-RX1000」を開発、販売開始。

2008

2008 - 本社工場(高岡市戸出町)大型球形マシニングセンタを東側組立工場を増築することで本格的に生産開始



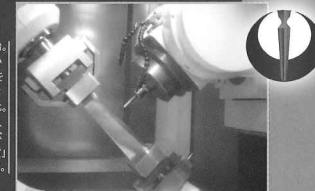
第5回ものづくり日本大賞



2010 - 高速加工における高精度化を実現に貢献させた同時5軸制御球形マシニングセンタ「Mytrunnion-3」を開発、販売開始



2009 - 「マイキューブ / Mycube」の研究開発が開始。高度な技術的課題を克服し、従来にない画期的なワンタッチキングで6面の加工を可能にする7軸制御マシニングセンタ「マイキューブ / Mycube」を開発、実用化。その開発力、技術力を評価され、「第43回機械工業デザイン賞」及び「第5回ものづくり日本大賞/経済産業大臣賞」を受賞。



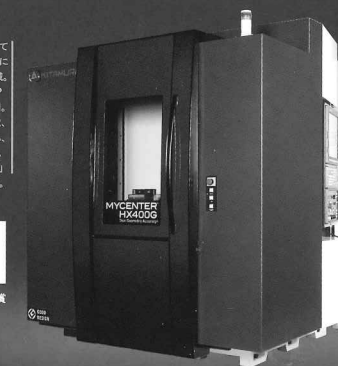
2011 - 当社独自開発のハイエンドCNC制御装置「アルマティック(Armatic-K)」の開発。従来比8倍の処理速度を達成し、加工時間の大幅短縮を実現。新開発の立形マシニングセンタ「Mycenter-3VG」に標準搭載し、販売開始。



2012

MYCENTER® G SERIES
SMART DESIGN

2012 - 「Mycenter-Gシリーズ」の開発において人間工学的視点から機械デザインを全面的に見直すとともに、トータルコストを削減。ドリアパネルには、世界で初めてCFRP(炭素繊維複合材料)を採用。操作性と超高精度加工の向上への貢献、省エネ環境への配慮が高く評価され、「グッドデザイン賞」を受賞。「Mycenter-3VG Sparkhopper」(HX330G/HX400G)の3機種においてGマーク取得。



2012 - 球形マシニングセンタ「Mycenter-RX1000(LTD)」を開発。線形MC2「GCAシリーズ」として販売開始

2012 - 当社独自開発のハイエンド制御装置「Armatic-K」の量産開始。従来比5倍の処理速度による加工時間の大幅短縮。操作性の大幅向上。新開発の「Mycenter-G」シリーズ」を中心に搭載機種を拡大。



2012年 グッドデザイン賞 受賞

2013 - 立形マシニングセンタ「Mycenter-4XD」を開発、販売開始。No.40ターパ、No.50ターパの2仕様を設定。完全トラニオンテーブルを組み込んだ「Mycenter-4D1」(5軸制御加工マシニングセンタ/4軸同時制御)へ展開。



弊社は、2013年11月8日におかげさまで創立80周年を迎えました。
創業1933年（昭和8年）以来、常に最先端の工作機械の開発・販売に努め、
1971年より次世代型工作機械と呼ばれる複合型マザーマシン・マシニング
センタの専門メーカーになりました。中でも現在の代表的な製品である

『Mycenter（マイセンタ）』シリーズは、1981年発売以来、
当社独自の技術による高品質と信頼性を高く評価いただき
世界52ヶ国で多くのユーザー様に愛用されてまいりました。
皆様方の大切な資産であるマシニングセンタを、より永らく
資産としてご活用していただくため1台1台精魂こめて製作
いたしております。今後も高品質なマシニングセンタを
更にご満足いただけるように新製品の開発、品質の向上に
精進してまいります。

代表取締役社長

博士（工学）・Ph.D., Eng.
北村彰浩

The 1970s



1970 - 世界初の
振動切削機の開発



1971 - 立形マシニングセンタの開発に成功
千手観音像をヒントに工具交換装置を開発、世界最速
の工具交換を実現。（世界特許）
12本の工具交換装置を備えた「T-12」の量産開始。
工具交換時間の2秒は、世界最速。
（世界24ヵ国特許取得）

1973
KITAMURA MACHINERY CO., LTD.

1970年代に、当社は、立形マシニングセンタの開発により、
新たな発展を遂げました。T-12型、T-15型、T-20型は、
千手観音像をヒントに発明/開発された12本から20本の工具
交換装置を備えた革新的な工作機械でした。世界特許取得
（世界24ヵ国）その当時世界中でマシニングセンタを製造
するメーカーは、わずか数社。

当社は、高精度、高品質を備え持つ工作機械メーカーとして、
世界に類のないマシニングセンタメーカーの先駆者として
君臨しました。

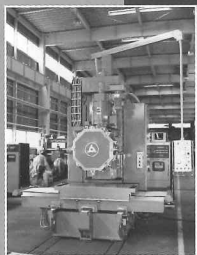


1971 - マシニングセンタを本格的に生産開始

1972 - 円形平面研削盤
「マイグラインダー」の開発
円形マシニングセンタの
生産開始



1974 - マシニングセンタの技術供与
西ドイツ・ドナウ社(DONAU Maschinenfabrik)と
業務提携し、DONAU-M11用研削盤のプログラムを
輸出を開始。同時にドナウ社に対して
技術供与を行う。



1974 - 立形マシニングセンタ
(S-12型、S-15型、T-12型、T-15型)を量産体制確立

1980年代、キタムラの高速度、高精度を実現する、高品質な完全自動化の
立形/横形マシニングセンタの開発への挑戦が続きます。

この姿勢が、今日のキタムラに受け継がれ、発展しております。

「Mycenter-H300スーパーセル」は、多面加工、多品種加工、長時間無人
加工、高精度加工を実現した、新しいコンセプトの同時5軸制御
マシニングセンタです。（世界10ヵ国で特許取得）
オートマチックパレットチェンジャー（APC）では、世界最高速
（7.5秒）を実現。立形 Mycenter シリーズのAPCとして量産。
このように常に最新技術を開発し、他社の一歩先を行くメーカー
というブランドを確立。



The 1980s

1980 - 立形マシニングセンタ
「Mycenter-1」を開発、販売開始。
1981年に世界で初めて15万回転を標準仕様とした
「Mycenter-1」の開発、販売開始。



1981 - 横形マシニングセンタ
「Mycenter-H300」を開発、販売開始。
主軸、0.01rpm、30本ATC
ロータリーテーブル、同時5軸
制御を標準仕様とする

1982-1983 -
NC旋盤を開発、販売開始。
Myturn-10, Myturn-20,
Myturn-30



1983 -
レーザー切断機を開発、販売開始。



1984 - 穴あけ加工機
「超精密高速度5万回転主軸の
HK-11, HK-21」を開発、販売開始。



1985 - 同時5軸制御多面加工マシニングセンタ
「Mycenter-H300スーパーセル」を開発、販売開始。
世界で初めての10回のクランプでクランプ床以外の
すべての加工が可能になる。高精度加工と
72時間無人加工を達成し、自動化に貢献。
世界特許取得(10ヵ国)

1987 - 世界最速(7.5秒)
オートマチックパレットチェンジャー（APC）を開発
立形 Mycenter シリーズAPC機として販売開始。



1988 - 次世代型多面加工機
「Mycenter-H300スーパーセル」
を開発、販売開始。
「H300スーパーセル」の上位機
中物部品加工の長時間無人
運転を実現。



1989 - 高速型マシニングセンタ
「3ミニマル」(3min)を開発、販売開始。同期5軸機能
をもった25,000rpm主軸と毎分100
の高送り送り機構、上位機種の
「ソニックモーター/Sonic II」(1.7倍)
No.43主軸に採用して世界初となる
25,000rpmを標準。個別100立方
センチの切削量を実現する高速
専切削盤マシニングセンタとして
開発、販売開始。

The 1990s

完全角型摺動面構造の改良、ツインボールネジ駆動（特許取得）

の採用により、機械の能力発
揮に不可欠な完全角型摺動面
構造を保持したまま、早送り
速度毎分50mの高速度を達成。

（世界最速）

この技術の開発により、安定
した高速、高精度、重切削加
工を実現。

横形マシニングセンタ「Mycenter-TGAシリーズ」に採用。

1ミクロン未満の高精度と、焼入れ鋼の重切削を両立できる
「質」に特化したマシニングセンタです。

** TGA (True Geometric Accuracy 真の機械姿勢・幾何学精度)

「スパークカット/Sparkcut」を開発。15万回転の高速度主軸と
新開発2軸対抗送りによる切削送り毎分100m（加速度2G）の
超高速金型加工を実現。加工時間は、従来機の1/10へ短縮。



完全すべりガイド(完全角型摺動面構造)に
おける早送り速度の高速度化/新技術の高速度化
新技術の開発と匠の技の融合

1991 - 彫削機 世界最速
1992 - 彫削機 世界最速金型新・従来の1.5倍
1993 - 彫削機 世界最速を再び刷新

1998 - 超高速金型加工機
「スパークカット/Sparkcut」の開発。
15万回転の高速度主軸、新開発2軸
対抗送りによる切削送り毎分100m
（加速度2G）、金型部品のプロセス
時間を1/10以下に短縮。金型
加工時間(1/10)に短縮
（第1回中小企業庁長賞賞）受賞！



1999 - 横形マシニングセンタ
「HK-Series」の開発。
世界初、完全角型摺動面構造で
毎分100mの早送り速度を実現
「Mycenter-Hシリーズ」に採用



a Journey of Excellence

キタムラ機械株式会社は、1933年に北村工作所として創業し、株式会社小松製作所を主な顧客として機械部品の生産を始めました。1960年代、ブレーナーの販売拡大の結果、国内市場占有率第一位、「ブレーナーのキタムラ」として評価をいただきました。ブレーナーは、ミーリングヘッドを追加することでフライス加工を可能としたプラノミラーに進化し、現在の工作機械の原型となります。当社は、プラノミラーにおいても国内シェアNo.1を獲得し、今日の基礎を確立しております。この高精度工作機械の製作を最重要課題と捉え、フライス削り、中ぐり研磨加工を極める姿勢は、今日の「Premier Machining Center」に受け継がれております。

The Premier Machining Center

誠実 親和 熱意

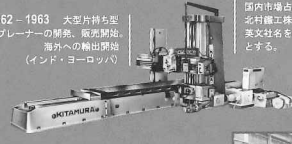
80 YEARS



1933

The 1960s

1960 - ブレーナーの販売拡大により、高崎市福田地区に工場を移転。市内市場占有率第一位となる。北村精工株式会社に改組。輸出開始し、英文社名をKITAMURA MACHINERY CO., LTD. とする。



1962 - 1963 大型片持ち型ブレーナーの開発。販売開始。海外への輸出開始 (インド・ヨーロッパ)

1964 - プラノミラー (ブレーナー) 加工とフライス加工の複合機の開発。



1965 - 新幹線車両の台車加工用の専用機の開発、製作、納入。



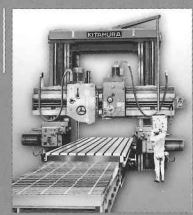
1966 - 小型高速ブレーナーの「マイブレーナー Myplaner」を開発。販売開始。1969年には、その発展型として油圧装置による形状加工も可能な複合機を開発。



1967 - ベッド型研削盤の開発。国内初のリニアガイドレールの研削専用機開発。販売開始。



1968 - 門型プラノミラーの生産開始。加工物の上面、側面のフライス加工が可能となり、加工の合理化、生産性を向上に寄与。



The 2000s

2001 - 5軸制御立形マシニングセンタ Mytruntron-5の開発。販売開始。高精度立形ジグボーラー Jigcenter-5の開発。販売開始。



2002 - 「Hシリーズ」の立形/横形マシニングセンタ。位置決め±1ミクロンの「Hシリーズ」の高精度仕様を開発。販売開始。



2006 - フライス加工、旋削加工、研削加工を1台に集約した、次世代型5軸制御複合加工マシニングセンタ「マイドゥラニオン」/ Mytruntron-1を開発。販売開始。



2007 - 最大1トンの重負荷加工を精度7ミクロン以内で行える業界最大級の複合マシニングセンタ Mycenter-HX10011、Mycenter-HX12511を開発。販売開始。



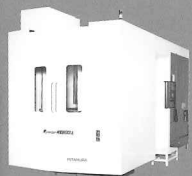
2010 - 高速加工における高精度化を実現させた同時制御複合マシニングセンタ Mytruntron-3Jを開発。販売開始。



2011 - 当社独自開発のハイエンドCNC制御装置「アルマテック (Arumatek-M)」の発表。従来比5倍の処理速度を達成し、加工時間の大幅短縮を実現。新開発の立形マシニングセンタ Mycenter-3XG に標準搭載し、販売開始。



2012 - 横形マシニングセンタ Mycenter-HX400 (LTGA) を開発。横形形の「TGAシリーズ」として販売開始。



2012 - 当社独自開発のハイエンド制御装置「Arumatek-M」の量産開始。従来比5倍の処理速度による加工時間の大幅短縮。従来比の大幅向上。新開発の Mycenter-G シリーズを中心に搭載機種を拡大。



2013 - 立形マシニングセンタ Mycenter-4XG を開発。販売開始。No.45ターボ、No.50ターボの2仕様を備えた安全トランスフェンブームを組み込んだ Mycenter-4X1 (5軸制御マシニングセンタ/4軸制御) へ展開。



同時5軸制御立形マシニングセンタ「マイドゥラニオン-5 / Mytruntron-5」

続いて位置決め精度±2ミクロンの高精度立形マシニングセンタ「Mycenter-Fシリーズ」、±1ミクロンの「Mycenter-Hシリーズ」を開発し、販売開始。

大型マシニングセンタの需要の拡大に伴い、本社工場に、より生産効率の高い大型機専用組立工場を竣工。

キタムラ機械は、高精度で、しっかりとした構造を持つマシニングセンタを作り続けるとともに、多軸化、新世代の機械構造、さまざまな新機能を開発し、成長を続けてまいります。

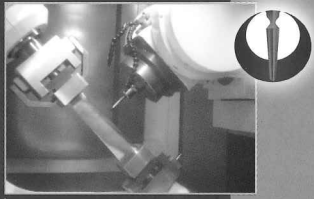
グッドデザイン賞に輝いた機械デザイン、当社独自開発のCNC制御装置をはじめとし、高精度、高品質な工作機械の開発への当社の熱意は、燃え続けています。

2008

2008 - 本社工場 (高崎市戸田町) 大型複合マシニングセンタを東側組立工場を増設することで本格的に生産開始



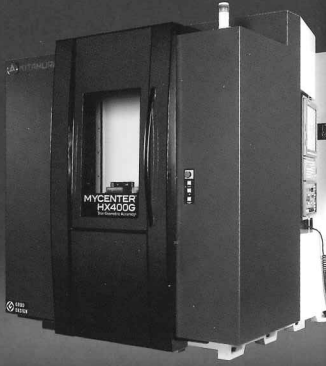
第5回ものづくり日本大賞



2009 - 「マイキューブ / Mycube」の研究開発が開始。高度な技術的課題を克服し、従来にない高精細なワンチャッキングで6面の加工を可能にする7軸制御マシニングセンタ「マイキューブ/Mycube」を開発。実用化。その開発力、技術力を評価され、「第43回機械工業デザイン賞」及び「第5回ものづくり日本大賞/経済産業大臣賞」を受賞。

2012 MYCENTER G SERIES SMART DESIGN

2012 - 「Mycenter-Gシリーズ」の開発において人間工学的視点から機械デザインを全面的に見直すとともに、トータルコストを削減。ドアパネルには、世界で初めてCFRP (炭素繊維複合材料) を採用。操作性と超高精度加工の向上への貢献。省エネ環境への配慮が高く評価され、「グッドデザイン賞」を受賞。「Mycenter-3XG Sparkchanger」, HX250G, HX400Gの3機種においてGマーク取得。



2012年 グッドデザイン賞 受賞